

報 道 資 料

令和6年6月27日
奈良県 県土マネジメント部
道路マネジメント課 課長 植谷
(内線 4150)
ダイヤル 0742-27-7499

一般国道169号下北山村上池原の崩土災害について 別線トンネルルートによる本格復旧が決定

令和6年6月27日、国土交通省より、一般国道169号下北山村上池原の崩土災害にかかる権限代行による災害復旧事業について、別線トンネルルートによる本格復旧の決定が発表されました。

<資 料> 奈良県における支援体制

<参 考> 国土交通省近畿地方整備局報道資料

「国道169号奈良県下北山村上池原の崩土災害について
別線トンネルルートによる本格復旧に決定」(抜粋)

(令和6年6月27日公表)

URL

<https://www.kkr.mlit.go.jp/nara/news/press/2024/brdd1i0000003s97.html>

国道169号下北山村上池原災害復旧事業 奈良県PT組織体系図

【プロジェクトリーダー】
奈良県県土マネジメント部
次長(技術)

【復旧案検討支援】

リーダー：道路マネジメント課 課長
メンバー：道路マネジメント課 課長補佐
(道路環境向上)
道路建設課 課長
道路建設課 課長補佐(道路政策)

(取組内容)

- ・プロジェクトの連絡調整
- ・国道169号下北山村上池原地区防災対策検討委員会の事務局
- ・現地調査支援

【工事・用地支援】

リーダー：道路建設課 課長
メンバー：道路建設課 課長補佐(事業調整)
吉野土木事務所長
計画調整課長
工務第二課長
用地・管理課長

(取組内容)

- ・地元調整支援
- ・用地取得支援
- ・工事進捗管理支援

令和6年6月27日14時00分
近畿地方整備局
奈良国道事務所

しもきたやまむらかみいけはら
国道169号奈良県下北山村上池原の崩土災害について
別線トンネルルートによる本格復旧に決定

- よしの しもきたやまむらかみいけはら
- 昨年12月に、国道169号奈良県吉野郡下北山村上池原で崩土被害が発生し、国の権限代行による災害復旧事業を進めています。
- これまで、「国道169号下北山村上池原地区防災対策検討委員会」において、本格復旧案の検討を進めてきました。
- この度、同委員会の意見を踏まえ、本格復旧の内容として、別線トンネルルートを決めましたのでお知らせします。

【概要】

よしの しもきたやまむらぜんき かみいけはら

区 間: 国道169号 奈良県吉野郡下北山村前鬼～上池原

内 容: 別線トンネルルートによる本格復旧(延長: 約2.9km)

(参考) 令和6年度 第3回 国道169号下北山村上池原地区防災対策検討委員会
<https://www.kkr.mlit.go.jp/nara/jigyou/shimokitayama.html>

<取扱い> _____

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、奈良県政・経済記者クラブ

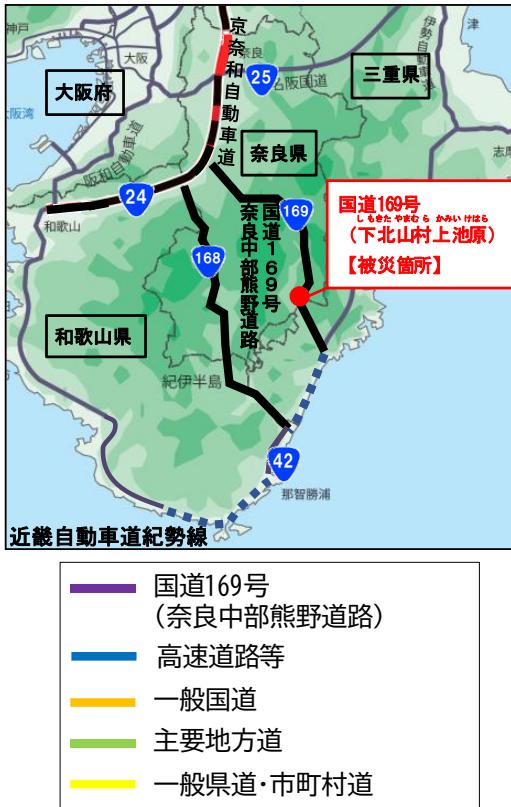
<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 奈良国道事務所

	副所長	にしだ あきら 西田 明 (内線205)
	計画課長	にしのかずひろ 西納和宏 (内線261)

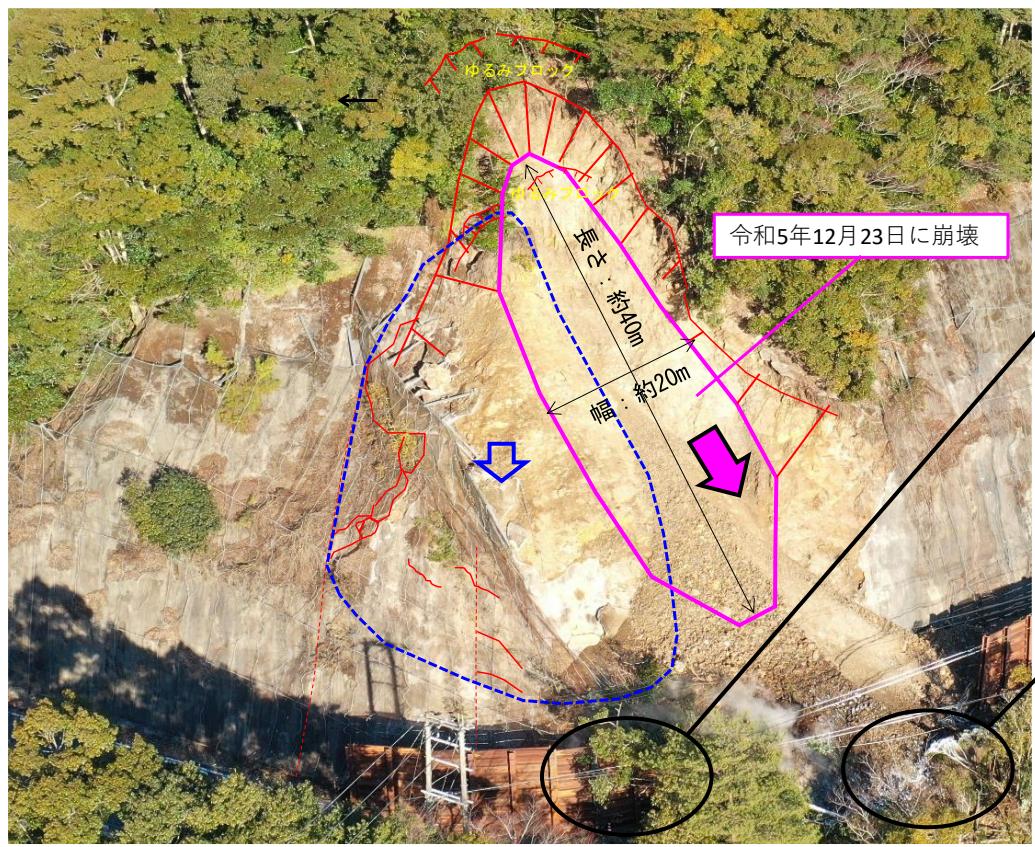
直通電話 0742-33-1391

国道169号 下北山村前鬼～上池原 災害復旧権限代行の概要

■ 被災箇所・災害復旧権限代行箇所



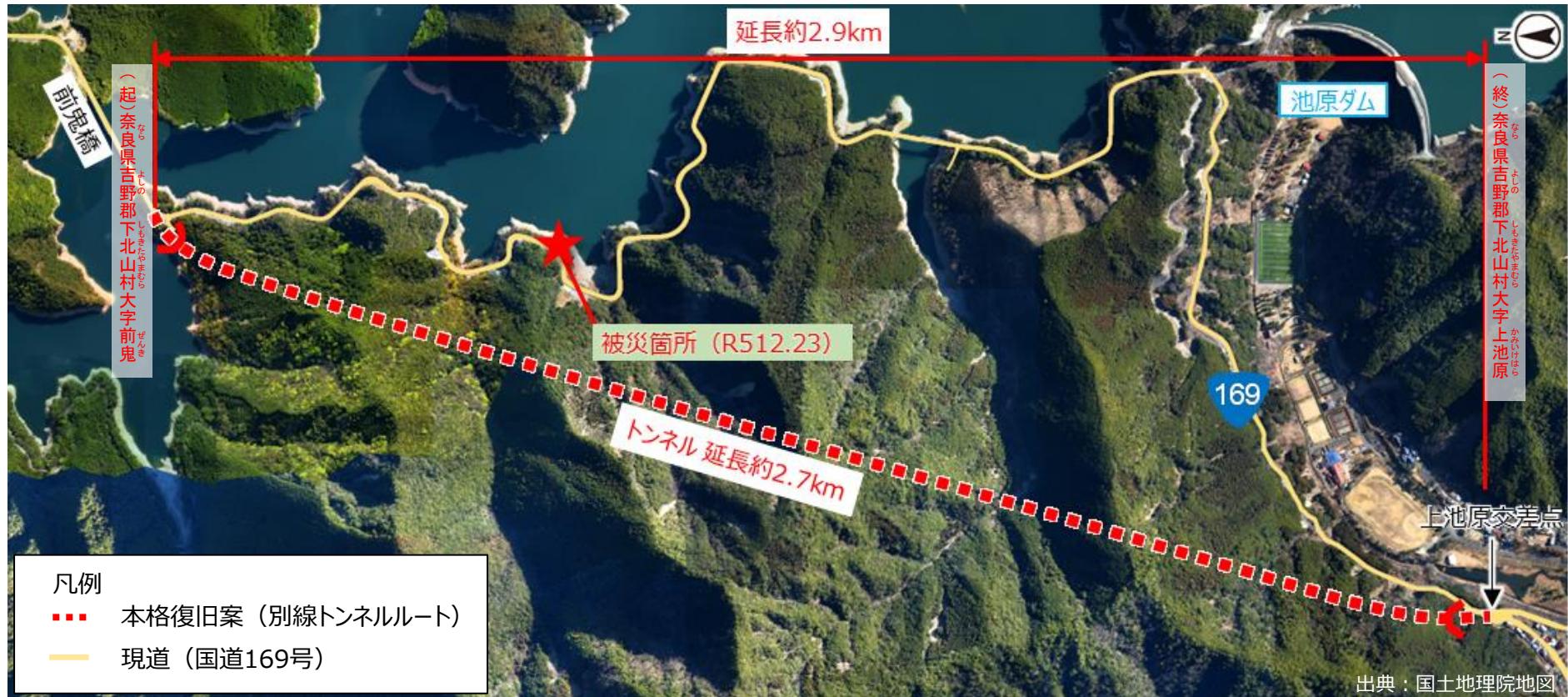
■ 被災状況 (写真)



- 被災の概要 -
- 被災車両① (1名死亡)
 - 被災車両② (1名重傷)



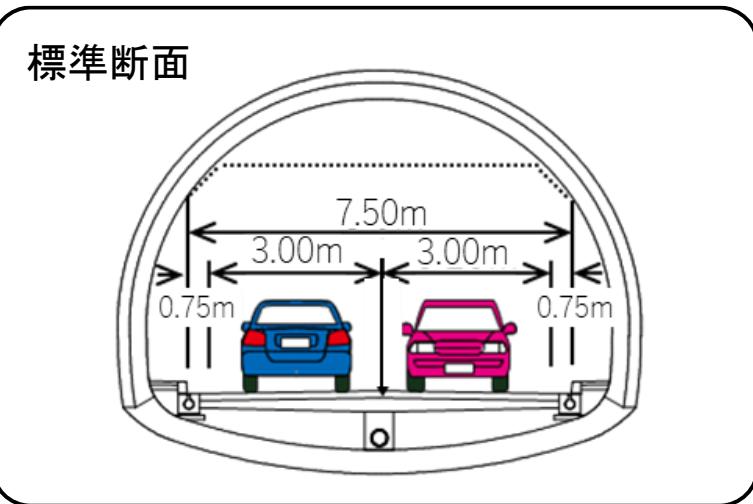
■ 別線トンネルルートによる本格復旧



(構造諸元)

総延長：約2.9km

- 土工：約0.2km
- トンネル：約2.7km



国道169号下北山村上池原地区防災対策検討委員会(概要)

しもきた やまむら かみいけはら

昨年12月に、国道169号奈良県吉野郡下北山村上池原で崩土被害が発生し、本年3月より国の権限代行による災害復旧事業を進めており、これまで、「国道169号下北山村上池原地区防災対策検討委員会」において、本格復旧案の検討を進めてきました。

この度、同委員会において、地質調査結果の報告及び本格復旧案の検討を行いました。

■開催日：令和6年6月26日(水) 18:00～

■委員：大西 有三(京都大学 名誉教授)【委員長】

小山 倫史(関西大学 社会安全学部 教授)

橋本 涼太(京都大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻 准教授)

浅井 健一(国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員)

桑原 正明(国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長) 他3名

■内容：地質調査結果より、**深層崩壊の危険性及びその範囲、国道169号全線にわたり地すべりや重力性変形に伴う緩み地形の存在が判明。**

本格復旧案として、**原位置復旧(アンカー工)**、**別線(ダム湖側)橋梁**、**別線(山側)トンネル**について、施工の難易度、施工安全性、維持管理、工期及び経済性で比較検討した結果、**別線(山側)トンネルが優位**であると確認。

<委員会開催経緯>

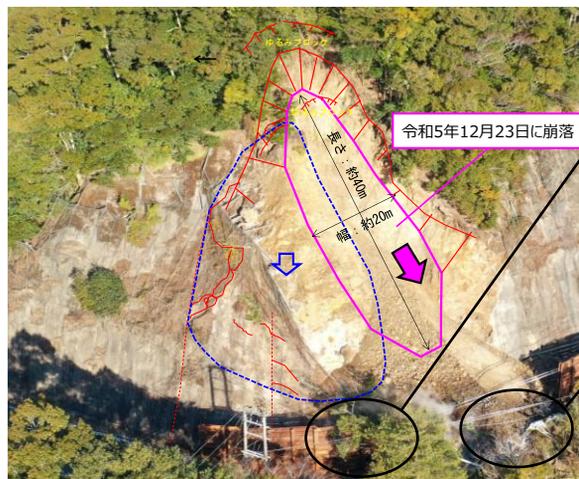
R6.4.4 第1回 国による本格復旧の今後のスケジュール

R6.4.22 第2回 本格復旧案の検討に必要な調査内容

R6.6.26 第3回 地質調査結果、本格復旧案の検討について



位置図



令和5年12月 被災状況



被災直後(12/24時点)



被災直後(12/23時点)

地質調査結果及び本格復旧案の比較

